

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No.52
2011 春

“身近なミシガン日本センター”

今回の春号では、“身近なJCMU”をテーマにその活動のいくつかをご紹介します。

土曜子ども英語教室オープン

2010年10月に、JCMUに半年コースの「土曜子ども英語教室」が誕生しました。JCMUでは近年、県内の高校（膳所・彦根東・米原）や県内の大学（滋賀大）を対象とした英語講座を開講していますが、今回開講した「土曜子ども英語教室」は、幼稚園児や小学生を対象としています。ゲームや歌、絵本を中心に、英語で遊びながら、英語特有の発音にも慣れていきます。子どもの大好きなJCMU学生もボランティアとして参加し教室を盛り上げてくれました。特に、3歳～小学校2年生を対象とするKids Iコースではお父さんやお母さんも一緒にオブザーバー参加しますので、一緒に「えいごであそぼ」というほほえましい光景になります。当講座は2011年度も継続開催されます。



JCMU生のその後 JCMU同窓会 (JCMUAA)

JCMUニュースレターをお読みくださっている方の中には、JCMU生は米国に帰国後どうしているかに関心をお持ちの方もいらっしゃると思います。ホームステイでの受入、カンパセーションパートナー、地域交流イベントなどで出会い体験をされている方、種々ご支援くださった皆様にとっては一層関心のあることでしょう。

1989年に彦根にミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）が設立され、以来、ミシガン州立の大学生を中心に当センターで日本語・日本文化・日本社会など学んだ米国人学生は現在では2,000名を超えています。

2009年5月に当センターで開催されたJCMU設立20周年記念式典で、ミシガンでJCMU同窓会（JCMUAA）組織が立ち上がったことが表明されました。

同窓会の初代の幹事役委員として、11年前に当センターで学び現在では弁護士として活躍されている二人、三菱UFJ銀行のアメリカ支店の副支店長、AMTEC社部長をしておられる方の四人が就任されています。

JCMU同窓会会長に就任されたのは、弁護士のベンジャミン・マクラッケン（Benjamin J. MaCracken）氏で、地元紙のデトロイト・リーガル・ニュースで「滋賀県はミシガン州と似てい

る。ともに製造業が盛んな県州である」と述べています。そして、マクラッケン氏は、滋賀県とミシガン州の経済交流をサポートする滋賀県の経済協力員にも就任され貢献されていますので、今後の経済交流の橋渡し（Economic Link）が期待されます。



マクラッケン氏は毎年2回程度来日しておられるとのことで、昨年夏にJCMUに立ち寄られ、後輩のJCMU学生との懇談会を開催されました。JCMU生からは、同氏がJCMUで学んでいた時の感想やアドバイスについては、「弁護士になるための法律の勉強も大変であ

ったが、JCMUでの日本語の勉強の方がもっと大変であった。一般には3カ月の一セミスターを学んで帰国する人が多いが、私の場合は延長して8カ月JCMUで日本語を学んだ」と回答されました。その甲斐あって同氏の日本語は大変流暢なものです。

また、「滋賀県滞在中に訪問して一番印象に残っているところは？」の質問については、「彦根城なども素晴らしいが、私個人にとっては近江八幡の長命寺であった。数百段もある石階段を登りきって到達した長命寺が一番印象に残っている」とチャレンジ精神旺盛な同氏らしい感想でした。

さらに、今年の2月にも経済協力員として県の要請に応じて来県され、3日間ほど滋賀県各地の名所訪問や特産品などの体験をされ、米国人から見た現地の印象や感想、そしてアドバイスを県に提供しました。

JCMU同窓会の中には、日系企業に就職された人、ホワイトハウス、デトロイト総領事館に勤務されている方もいます。米国の中学校や高校の教員となられた人も多く今では全米各地に在住しています。また、米国や日本のみならずアジア各地にも勤務していますので、JCMU同窓会ネットワークは日米の枠を超えて世界に広がりとつとあるといえるでしょう。これからの成長が楽しみです。



MaCracken会長とJCMU生の懇談会

2010びわ湖環境ビジネスメッセ～日米経済交流を身近に実践！

ミシガン州経済開発公団(MEDCC)ブースでJCMU学生活躍

2010年10月20日～22日の3日間にわたり長浜ドームで開催された「びわ湖環境ビジネスメッセ」のミシガンブースにMEDCCのケン増本氏、アンソニー弁護士に加え、ミシガン日本センターからもモーリス所長、ポール客員教授、県国際協会川口彦根事務所長の他JCMU留学生5名が参加しました。そのうちの一人でニューヨークからJCMUに留学していたキース・バートレット(Mr.Keith Bartlett)さんから「びわ湖環境ビジネスメッセの一日」と題して体験談が寄せられました。その一部をご紹介します。

「びわ湖環境ビジネスメッセの一日」

キース・バートレット

JCMUの学生や同窓会メンバーが、びわ湖環境ビジネスメッセに参加することは、有力で専門知識のある経済人との交流をはじめ、通常は業界の専門家しか経験できない技術の実演をみて刺激を受けることなど、他では得られない多くの経験を楽しむことができます。

また、単に楽しいだけでなく、ミシガン州経済開発公団ブースの説明員として参加することで、ミシガン州や米国の代表としての役割が与えられ、日本／滋賀県と米国／ミシガン州間で将来協力関係を築くことに関心のある人たちと出会うことができます。私の個人的な意見ですが、これらの出会いはJCMUの学生にとって日本のビジネスマンと日本語で直接会話する良い機会であり、また専門職レベルでの関係を築く好機になると思います。

特にJCMUに集った学生、同窓会生にとってはなにがしか滋賀に愛着を感じているにちがひありませんから、滋賀を繁栄に導いているビジネスやコミュニティをまのあたりにし、滋賀の全体像を把握する意味でこのビジネスメッセへの参加は見逃すことができません。



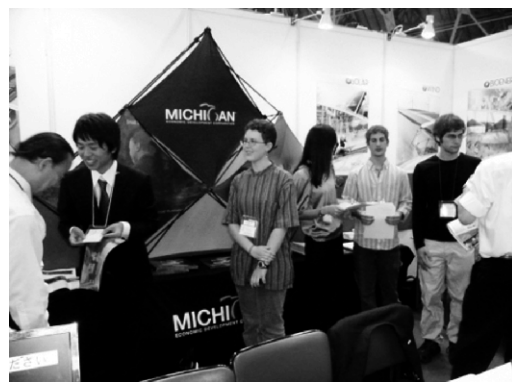
日本のビジネスマンに対応するキース・バートレットさん

A Day at the Shiga Environmental Business Exposition

By attending the Shiga Environmental Business Expo, JCMU students and alumni can enjoy many unique experiences that would be difficult to find anywhere else—from interacting with influential and knowledgeable business people to seeing awe-inspiring demonstrations of technological achievement that are usually reserved for industry professionals.

Far from just being an entertaining and informative outing, a trip to the Shiga Environmental Business Expo also allows JCMU students and alumni to represent both Michigan and America as a whole, especially while serving as greeters at the Michigan Economic Development Corporation booth. In this way, it is possible to meet with Japanese industry professionals who are interested in the well-established collaborative efforts between Michigan and Shiga prefecture, paving the way for increased cooperation in the future. On a more personal level, these meetings serve as excellent opportunities for both former and current JCMU students to practice their Japanese and to cultivate professional relationships with Japanese businesspeople.

Especially of interest to JCMU students and alumni is the fact that many businesses based in Shiga prefecture make an appearance at the Shiga Environmental Business Expo, and attending the expo is a great way to learn more about these businesses and the communities of Shiga prefecture overall. Anyone who has attended JCMU must feel a certain attachment to Shiga prefecture, and this opportunity to take a closer look at the business that help Shiga prefecture to prosper is therefore one that should not be missed.



ミシガンブースでの JCMU 生

JCMU 公開講座

ミシガン州立大学連合日本センターでは、地域社会の国際化と国際理解に少しでも貢献できるよう、毎年公開講座を開催しています。今回は、平成22年度に当センターを会場に開催した4回の公開講座の様子をご紹介します。

第73回 公開講座

「日本と日本人の国際化 Why do we go global?」

6月19日(土)

海外留学生に日本のマーケティングを教えている同志社大学大学院の林廣茂教授が「地域と人の国際化こそ今後の日本や日本人にとっての重要戦略。そのためには英語で考える発想を身につけ、自分の考えを英語でも説明できる“使える英語”の習得をと」と語りました。当日は、講演以外に、県内で活躍される油絵・イラスト画家3人の作品共同展示のほか、甲賀のキャラクターにんじゃえもんがJCMU寮を訪問しJCMU学生の興奮を呼ぶ一幕もありました。



第74回 公開講座

「日本の歴史秘話 ～1853年黒船来航前の知られざる日米接触 Unauthorized Contact:Unlocking the Door to Japan Before the 1853 Arrival of the Black Ships」

9月25日(土)

ミシガン州立大学連合日本センターのピーター・モリス所長が、日本に英学の始まった幕末日本の情勢について、NHK大河ドラマ坂本竜馬も紹介し、坂本竜馬・福沢諭吉にも影響を与えたジョン万次郎や日本にあこがれて上陸したインディアン系アメリカ人ラルド・マクドナルドなどについて講演しました。参加者からは、日米接触の幕開けについて初めて聞いた話が多くあったとの声がありました。



第75回 公開講座

「観光ガイド体験 滋賀の歴史／観光 ～英語・日本語で紹介します Tourist Guide in Shiga & AZAI Three Sisters」

3月5日(土)

大阪商業大学の国際交流アドバイザーである三好壽雄氏が外国人の観光ガイド体験を、またミシガン州立オークランド大学からのJCMU女子留学生三名が浅井三姉妹の歴史について講演しました。三好アドバイザーの海外旅行者を盛り上げる秘策のクイズ、女子留学生三人の日本語による三姉妹の歴史解説が特に好評でした。

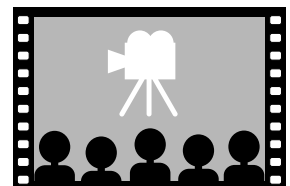


第76回 公開講座

「映画で学んだ民主主義 Learning Democracy via Film」

3月13日(土)

滋賀県東近江市出身の出目昌伸映画監督をJCMUにお迎えし、同監督が若い時に助監督として黒澤明監督とともに製作した「用心棒」での体験やご自身の映画製作体験について講演後、参加者との懇談をしました。飾らない同監督の人柄に皆さん親近感を感じられたようです。



普段着のおつきあい！

ホストファミリー

ホームステイ受け入れしてくださったホストファミリーの皆様ありがとうございました。多くのJCMU学生から感謝の言葉が届いています。

「I felt nervous at first, but I really loved being there. They helped me discover new words and how you use them. I was very comfortable and wished that I could have stayed longer. Best cultural experience I have had in Japan.」

「最初は緊張しましたが、ホストファミリーといることが大好きでした。家族は私に新しい言葉や、その使い方を教えてくれました。とても居心地が良く、もっと長く居たかったです。日本で一番の文化体験でした。」

JCMU学生を受け入れていただいたホストファミリーの皆さんからも多くの感想が寄せられています。

「学生さんが日本語で話してくれたので、家族みんなとコミュニケーションが取れました。子どもたちには時々英語を使って話をしてくれたり、アメリカの遊びをしてくれたので、とても喜んでいました。お互いの文化の違いを話し合い良い経験ができました。休日のお昼にたこ焼きパーティをしました。学生さんに喜んでもらったようです。」

ホストファミリー体験談やアンケート結果をHPでご覧ください。普段着のお付き合いこそが素晴らしい！



ホストファミリー募集

当センターでは、アメリカ・ミシガン州を始め全米から来日している留学生のホストファミリーを募集しています。1カ月以上の長期ホームステイのほか、週末だけの短期ホームステイもあります。まずはバンクに登録していただき、そのあとは都合が合うときに学生の受け入れをお願いしています。1人でも多くの留学生がホームステイを体験できるように協力いただければ幸いです。

JCMU 2011年春季英語プログラムの案内

彦根コース

2011年4月11日(月)～7月1日(金)
(集中、各種スキル、夜間コース)

彦根土曜コース

こども英語教室:4月9日(土)～9月10日(土)
モーニングコース:4月9日(土)～7月9日(土) **新規**

大津・栗東夜間コース

大津夜間コース:4月13日(水)～7月6日(水)
栗東夜間コース:4月12日(火)～7月5日(火) **新規**

(詳細はHPをご覧ください。)

※ 夏期(7月中旬～8月下旬)は、1週間から2週間程度のJCMUならではの英語漬け集中コースを数講座開催予定。

JCMUからのメッセージ



東日本大震災被災者の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復興をとげられますことを願っております。

当センターにおきましても、震災後、米国国務省の日本訪問延期勧告がだされたことの影響で、米国の大学当局決定により、当センターに1月より来県していた春学期学生が心ならずも予定を切り上げ早期授業を修了する決定がなされました。そのため、3月下旬に学生全員が帰国する結果となりました。関係者の皆様のご期待に添うことができず、ご迷惑をおかけする結果となりましたことお詫び申し上げます。当センターとしましては、当地における安全や防災、生活に関する情報をできるかぎり正確に米国に向け提供できるよう微力を尽くし、またミシガン大学連合もこの理解のもとに5月MAYプログラム、6月からの夏期セミナー開講の基本方針を決定いたしました。しかし、参加者辞退などの影響もあり、流動的な情勢であることをご理解くださるようお願い申し上げます。

東日本大震災被災者の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復興をとげられますことを願っております。当センターにおきましても、震災後、米国国務省の日本訪問延期勧告がだされたことの影響で、米国の大学当局決定により、当センターに1月より来県していた春学期学生が心ならずも予定を切り上げ早期授業を修了する決定がなされました。そのため、3月下旬に学生全員が帰国する結果となりました。関係者の皆様のご期待に添うことができず、ご迷惑をおかけする結果となりましたことお詫び申し上げます。当センターとしましては、当地における安全や防災、生活に関する情報をできるかぎり正確に米国に向け提供できるよう微力を尽くし、またミシガン大学連合もこの理解のもとに5月MAYプログラム、6月からの夏期セミナー開講の基本方針を決定いたしました。しかし、参加者辞退などの影響もあり、流動的な情勢であることをご理解くださるようお願い申し上げます。



ガンバレ 日本！ ガンバロウ JCMU！

ミシガン州立大学連合日本センター

〒522-0002

滋賀県彦根市松原町網代口1435-86

TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356

URL <http://www.jcmu.net>

■編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所